

しみずの教育 ちょっといい話

清水小学校

【平成28年7月号】

校長 山下 勇

子どもたちの学習成果を地域に発信

5年生の子どもたちが、国語の学習で「わが町のベスト・スリー」を紹介するポスターづくりをしました。その作品を十勝清水観光情報ステーション（ハーモニー・プラザ内）の一角に掲示させていただきました。子ども自身、学習を通して改めて自分が住んでいる町・清水町のいいところを確認するとともに、新たな気づきもあったようです。

また、子どもたちの作品掲示の企画を快く了解していただきました町商工観光課の皆様へ、心から感謝いたします。子どもたちの学びや育ちにご支援・ご協力いただいておりますことを大変嬉しく思います。



グループのまとめ
【清水町の自慢できること】

レンガに刻む“私のまち”への作品協力

道庁赤レンガの前庭アプローチ部分をレンガ舗装に改良するプロジェクトに6年生7名が参加協力しています。7個のレンガには、清水の町名やマスコット等を刻んだ作品を作成中です。1学期中に完成させる予定です。その後、焼成・製品化されて道庁赤レンガの前庭アプローチ部分に敷き詰められ、10月中旬頃舗装整備が完了する予定とのことです。どんな感じで焼き上がり、どの辺りに、どのように敷かれているのか今から楽しみです。学校や家などで、コツコツと作成に取り組んでいる児童の皆さんに感謝します。

1学期の参観日を終えて

6月27日（月）～30日（木）までの4日間開催しました参観日に、多くの保護者の皆様に参観いただきました。授業参観を通して、普段の授業の様子や学びの姿勢、指導方法等を見ていただきました。また、全体懇談会や学級懇談会を通して、これまでの学校経営の具体的な内容や成果、子どもたちの成長の様子、校長や担任・担当教諭等の考えや思い、今後の取組等についてお話をさせていただきました。学校からの情報提供や保護者との懇談を通して、一層相互の共通理解と信頼関係を高め、子どもの成長に携わっていきたいと思います。



1年生 生活科
【あさがおのかんさつ】

石の子フェスティバル！！

7月1日（金）に石の子フェスティバルを開催しました。

全校児童が8つのグループ（縦割り）に分かれての活動。活動の話し合い、お店の準備、当日の分担、後片付けまでしっかり行い、全員が活躍することのできる行事でした。

当日は、放送による開会式後、出店の準備。子ども達は、前半と後半に分けてお店の運営とお客さんとしての活動をしました。地域の皆さんもたくさん来ていただき大変盛り上がりました。どのお店も楽しく工夫されたものばかり。順番待ちのお店もある程でした。

子ども達の自主性が伸びるとてもよい行事でした。私もつい夢中になって参加してしまいました。閉会式後は、縦割り班による給食。給食の後は、縦割り班で外遊びする姿も見られ、縦割り活動の良さを実感しました。御影小の良さを再発見！



開校 100 周年記念式典まで あと 4 か月！

（教頭 川崎 広輝）

『笑顔の天下』～2学年キャンプ～

7月5日（火）～6日（水）、日高町にてキャンプを中心とした野外活動を行いました。スローガンは『笑顔の天下』。2日間の生活を笑顔で過ごし、また、「友情」、「主体性」、「集団行動」、「自然愛護」の4つの目標が達成できたとき全員が笑顔になる、そんな思いを込めました。

当日は、スローガン通りに楽しく充実した体験をすることができました。



意外にスムーズにできたテント設営



ポイントごとで指示されたポーズをとって
写真におさめるフォトウォークラリー



水は冷たくても元気と笑顔いっぱいのラフティング



食事づくりの必須作業の火おこし



夕食はカレー選手権。盛りつけ NO. 1のパンダカレー



笑顔・笑顔・笑顔の集合写真

(教頭 伊澤理紀)

書写ボランティアのみなさんが来校されました

6月16日（木）、1年生が今年初めて、書写ボランティアのみなさんを招いての書写の授業を行いました。3名の方に来ていただく予定でしたが、千葉県からのご友人も同席されたり、昨年までいらしてくださった先生もご一緒して下さったりして、総勢5名の方がおいでになりました。おそろいのエプロンを身に付けられて、みなさんとともうれしそうに教室に入られました。

今回の課題は「天地」です。実物投影機で先生の手元を大きく映し出し、筆の運び方や字の整え方を学びます。また、実際に机を廻っていただき、

一人一人手を取って筆遣いを確認したり、ハネの方向を示したりして下さいました。ちょっとしたポイントを聞くだけで、生徒はみるみるうちに上達し、整った字を書くことができていました。

ボランティアのみなさんは「とてもよい生徒さんですね」と、おっしゃってくださり、休み時間も生徒のそばを離れずに熱心に教えて下さいました。生徒も、「先生、先生」と積極的にアプローチ

し、よりよい作品に仕上げようと頑張っていました。

納得のいく一枚を提出用とし、氏名を書き入れます。なかなかの秀作がそろいました。現在、1年生教室前に掲示してありますので、参観週間や参観日にお越しの際はぜひご覧ください。

また、さらにうれしいことがありました。片付けの様子です。自分の道具の片付けを自分でするのはもちろんですが、

墨汁で汚れた机の上を次々に拭いてくれる生徒がいます。自分の机だけではなく、友だちの所も拭いて回ります。汚れている机を見つけて全部拭いているのです。「雑巾貸して」と自らキレイにしようとする生徒もいます。みんなで協力して、きちんと時間内に片付けまで終了することができました。

これから12月まで、全学年で書写ボランティアによる授業が計画されています。ボランティアの先生方が楽しみに御影中学校に通ってくださることを

願いながら、次回のご来校をお待ちしたいと思います。

（教頭 宗形 真恵）



「勝利の女神は些事(さじ)にあり」～大谷翔平選手のモットーから

6月26日(日)から高校野球北北海道大会の十勝支部予選が行われました。本校は開会式後の第二試合で昨年と同じく芽室高校と対戦しました。Aブロックは左側に白樺、緑陽、三条が固まり、右側は芽室、清水、池田、広尾の地方校の組み合わせとなりました。結果は白樺対池田の代表決定戦となり、白樺が北北海道大会に進出しました。Bブロックは江陵、Cブロックが柏葉、白樺と合わせた3校が、北北海道大会に出場します。

芽室高校との試合は延長10回、4対6で敗れましたが、何が足りなかったのか、些事(ささいなこと)とは何だったのか、ずっと考え続けています。高校生の試合ですから細かいミスはあったものの、選手は今持っている力を十分に出し切り、有志応援と言いながら全校の3分の1くらい集まった生徒や保護者、地域の人々に感動を与える試合でした。



1回の表に1点を入れられたものの3、4回に1点ずつ入れて逆転。6、7回に1点ずつ入れられ2対3となりましたが、必ず逆転できると思いながら応援していました。思いの通り8回に2点を奪い4対3。しかし、勝利の女神は微笑まず、9回表に1点入れられ延長、10回表の2点をひっくり返すことはできませんでした。

一つ一つの場面に一生懸命練習した3年次生7人、支える2、1年次生の思いがあります。一人一人の動きをすべて紹介したいのですが、特に印象的だったのは、1年次でセカンドのレギュラーに入った小川君です。各回の守りで必ず2、3度、ピンチの度にマウンドに駆け寄ります。サイドスローから粘投する3年次のエース丸子滉聖君を支え続けました。キャッチャーも2年次の佐藤君が堅実なプレー、年次を感じさせない一体感を生み出したチームは本当に素敵でした。

勝利の女神が微笑まなかった「些事」は、ずっと勝利を信じ続け、次の試合での全校応援を思い描いていた校長にあったのかもしれませんが。

「第69回清高祭」ご来場有り難うございました

7月9日(土)、10日(日)と清高祭が行われ、日曜日、雷雨の直前に前庭での模擬店も営業を終了、ギリギリ天気を味方につけることができました。沢山の方のご来場に感謝致します。



9日の土曜日は、グラウンドでのアトラクション。各クラスが5～8分の制限時間でダンスや寸劇を入れたパフォーマンス等を競います。各クラスのテーマを意識して、1年次は初々しく、2、3年次となると審査員をうならせるものも出てきます。わずかの準備期間、どこで練習しているのだろうかと思わせる程の出来映えでした。アトラクションの後ろの各クラスの垂れ幕、見ていた



だけでしたか。

10日の日曜日は、模擬店、クラス展示、体育館でのカラオケ、茶道のお手前や図書の古本市など部活毎のブースも設けられました。昨年からは閉祭式前に「虹灼祭(こうやさい)」も企画され、熱狂と盛り上がりの中で学校祭の幕を閉じます。お好み焼き串や定番の焼きそば、焼き鳥、生産技術系列のピザなどは、並んでも食べられない賑わいを見せます。各クラス、展示も含めて、来ていただいた方に楽しんでもらうための工夫満載の日でした。



P T Aからは沢山のバザーお手伝い、P T AのOBも含めてお父さん方の「いか焼き」など、関わっていただいたすべての方に感謝を申し上げます。

本当に有り難うございました。

清水幼稚園

園長 福原幸江

落花生を植えました…高校生のお兄さんに教えてもらいました!



6月7日(火)に清水高等学校の農業用のハウスに行き、高校生のお兄さんたちに手伝ってもらいながらサツマイモの苗を植えました。秋に収穫して、焼き芋をするのが楽しみです。

この日は、幼稚園に帰り、落花生などの苗を植えることになっていたのですが、お兄さんたちと手をつないで、道々いろいろな話をしながら楽しい時間を過ごせました。落花生やミニトマトもお兄さんたちに手伝ってもらい、園庭南側の日の良く当たる場所に植えました。黄色い花が咲くのが楽しみです。そのほか菜園や花畑など丁寧に草取りも手伝っていただき、見違えるようにきれいな園庭になりました。幼稚園の力強い味方です。



歯磨き指導・・・お母さんと一緒に！！



7月1日(金)に町保健師さんと歯科衛生士さんに来ていただき、歯磨き指導を受けました。

初めは、『五月会』の皆さんによる全園児対象の虫歯のお話として、カップシアター「こぶたのはみがき」、その後は歯科衛生士さんが「どうして虫歯になるのか」をケンちゃん人形をつかって説明してくださいました。その中で、「虫歯菌がおいしいものを食べた後で、お口の中でうんちをするんだよ」と、子供たちにわかりやすいように歯磨きの大切なことを教えていただきました。



年長児対象として、歯科衛生士さんが歯垢染め出し液を綿棒で付けてくださり、歯垢と永久歯の萌出チェックを一人一人に行いました。チェックの後はお母さんたちに口の中を丁寧にみていた



だき、虫歯予防と6歳臼歯の重要性についても学ばせていただきました。

第一保育所

体育館で元気に運動会！！

6月26日(日)、第53回運動会が雨天の為、体育館での開催となりました。

年長児(5歳児)にとっては、最後の運動会。4月から少しずつ練習してきた、フープ回しに縄跳び、組体操を取り入れた運動遊びを堂々と披露し、リレーアンカー、競技アンカーなど自信満々に頑張っていました。

3・4・5歳児の(年齢別クラス)他に異年齢クラスの活動も取り入れた競技など、練習の成果をお客様に観ていただき、会場の皆様から温かいご声援や拍手に、子どもたちは、元気いっぱい最後まで楽しく参加することができました。

ご家族の皆様も参加してくださって、みんなで楽しく過ごした一日となりました。

(保育士 平野 洋子)

こぐまクラブ集合訓練

7月6日(水)、こぐまクラブ集合訓練があり、「横断歩道と踏切のわたり方」を学びました。今回は、こぐまクラブ役員さんとサポートの皆さん、そして、クロネコヤマトさん協力のもと活動を行いました。横断歩道をわたる時には、クロネコヤマトのキャラクター「クロ

ネコ君」と一緒に車が来ないか『右を見て左を見て、もう一度右を見て』と確認をし、手を上げて渡りました。

車が来ないか真剣に確認する子どもたちでしたが、横断歩道を渡る際には、クロネコ君と手を繋いで嬉しそうに歩いていました。踏切を渡る時には、遮断機があがっているか、電車が来ていないかを確認しながら渡ることができました。

年長組（5歳児）は、クロネコヤマトの車に乗せてもらい、運転席からの死角についても指導を受けました。なかなかできない貴重な体験をさせてもらい、今回の集合訓練で横断歩道と踏切の渡り方が上手になった第一保育所のお友だちです。



（保育士 鈴木 寛 人）

第二保育所

バス学習～明治チーズ館～

7月5日（火）に、バス学習で明治チーズ館に行ってきました。年長児26名、年中児16名での参加でした。いつも食べているチーズがどのように出来ていくのかを見せていただきました。工場の広さや、見たことのない機械に驚く子ども達！実際に、出来上がったものが流れてくるところも見れて、釘づけになっていました。「大きくなったら、ここで働きたい！」という子もいて、とても印象深かったようです。子ども達にとって楽しみながら様々な事を学ぶ、良い機会になってくれたらと思います。



（保育士 秋野 まどか）

充実した運動会

雨降りが続き、天候が心配されていましたが、無事屋外で第43回運動会を行うことができました。運動会当日は、練習の成果もあり、とてもよい競技ができました。はじめてのつなひきは、異年齢の子どもたちが一丸となって行い、見ごたえのある、素晴らしい競技でした。異年齢競技の「ピックお弁当レース」や、各親子競技など、それぞれが工夫をこらした良い競技で、親子一緒に楽しむことができました。年長児のぞう組にとっては最後の運動会。メダルを貰う姿は、感無量でした。

（保育士 平井 浩美）

歩いたよ！

一番小さいクラスのももぐみのかわいい子どもたちは、大きいクラスのお兄さんお姉さんたちから大人気。大人から見ると保育所に通う子はみんな小さく見えますが、子どもたちにとっても小さなももぐみさんは特別な存在のようです。異年齢で過ごすとき、「こんなこと出来るんだね！」「おやつ一人で食べられるの！すごいね！」と私たち保育士のようにももぐみさんが何か出来る褒めてかわいがってくれます。



御影保育所で一番小さなお友達が最近歩けるようになりました。大きいクラスの子どもたちは早く歩けるようになってほしいと手を引いて部屋の移動を手伝ってくれたり、「あんよはじょうず！」と声をかけたりしながら見守っていました。少しずつつかまって歩けるようになると「早く一緒に外であそべるようにならないかな～」と歩けるようになる日を楽しみにしていました。

保育所全体で見守っているうちに、上手に歩けるようになりみんな大喜びです！これから夏に向け、お散歩に出かけるのが楽しみです。

いちごがなったよ～

今年も保育所の畑に、いちごがたくさんなりました。畑の管理は年長組のひまわり組がやってくれています。外で遊ぶときは、他の野菜なども育てているので気になって見に行っただけは見守っています。今年は雨が続き、水やりにはなかなか行けませんでした。子どもたちは気になって送り迎えのときに見に行っている姿も時々見られました。

運動会が終わり、いちごが赤くなってきていたので、ひまわり組がたくさん摘んでくれました。ふつうのいちごよりはちょっと小さいですが、他のクラスの子たちも食べられるくらいたくさん収穫できてみんなで1つずつもらって食べました。

甘いいちご、すっぱいいちごがあり、「私当たり～」「ぼくのすっぱーい」とみんなで喜んで食べました。

まだこれから収穫するスイカやニンジン、トマトなど大きく育て美味しく食べられるのが今から楽しみです。

(保育士 針塚 彩)

「道民家庭の日」ご存じですか？

今日の家庭は、ともすれば日常の生活や仕事に追われ、家族での人間的なふれあいが薄れがちです。家庭は、家族の安らぎの場であると同時に、明日への意欲をみなぎらせる場でもありますので、家族みんなで「話し合い、お互いを理解し合う」、「団らんで相互にぬくもりを分かち合う」、「自然体験や健康づくりに努める」など、親子の触れ合いの場を増やしていくことがきわめて大切です。そこで定められたのが、「道民家庭の日」（毎月第3日曜日）です。

皆さんも、自分の家庭を振り返り、家族の絆を確かなものにする機会にしてみてもはいかがでしょうか。

尚、「道民家庭の日」に出かける際は、「家族ふれあい優待制度」が利用できます。18才未満のお子様連れの家族が「家族ふれあい協賛店・施設」を訪れると、料金の割引などがあります。その時は、「優待券」（コピー可能）の提出が必要になりますが、ホームページやフェイスブックから取得できます。

協賛店・施設一覧も載っています。



公益財団法人 北海道青少年育成協会（HP：<http://www.ikuseikyo.jp/>）

（教育指導幹 清水 彦一）



子育て教育の四季

家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで「12の窓」から
感性あふれ、表情豊かな子を育てる

夏～かぐわしい香りの中で 志(夢)大きく高く

家庭・地域
今月の取組
うちの子 よその子
隔てなく
しっかり受け止め
励まそう